

# 第42回 便利なコマンドで作業効率アップ

※ このテクニカル講座は、Ver 4.01c を基に作成しております。

【3DCAD】プログラムには、便利なコマンドが多数用意されています。これらのコマンドを知っているか知らないかで入力作業のスピードも変わってきます。今回は、プランを入力しながら、下記のような入力を解説してきたいと思います。

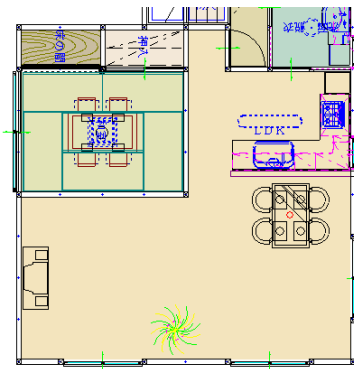
- 畳コーナーの入力
- 建具の内容コピー
- 記号中抜き
- レイヤー（屋根図線取り込み）
- 面積表の挿入
- 建物高基準点

便利なコマンドを使って作業効率アップにお役立てください。

## Step 1 畳コーナーの入力

右図のような畳コーナーを入力してみましょう。

和室とその周りの部屋（LDKなど）を入力します。

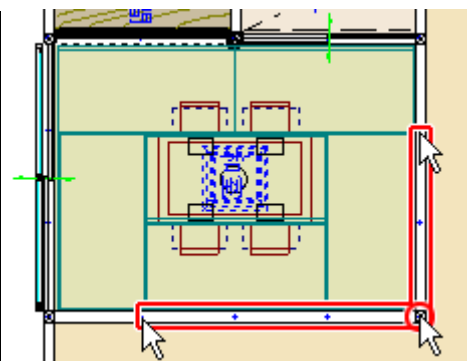


開口部分（右図赤枠）に垂壁と框を入力します。



（重ね記号）をクリックします。  
[垂壁+無目]をクリックし、赤枠部分に入力します。

和室の角にある木柱を削除します。  
[削除]メニュー／[点削除]を選択し、木柱部分をクリックします。

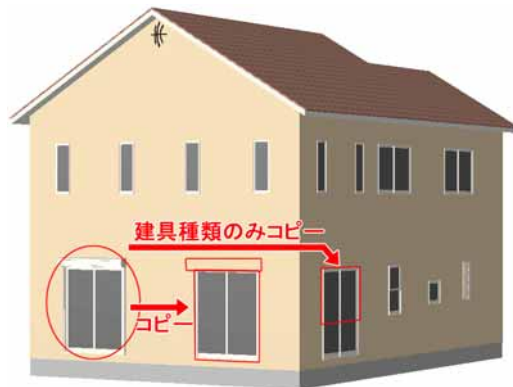


## Step 2 建具の内容コピー

[建具の内容コピー]コマンドは、入力している建具の内容(種類・建具高・内のり高)を既に入力している建具へコピーすることができます。

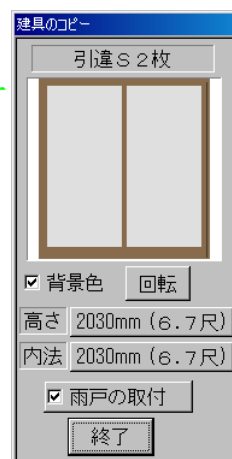
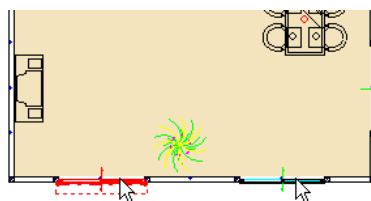
コピーするときは、元の建具の建具高・内のり高を変更して入力することもできます。また、元の建具が雨戸付だった場合、雨戸もコピーするかを選択することができます。

右図の雨戸つき掃出窓をコピー元にし、右図のようにコピーをしてみます。



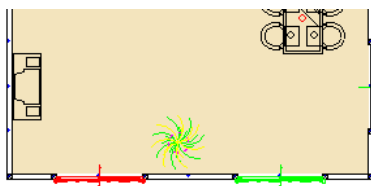
(建具編集) / [建具の内容コピー]を選択し、コピー元になる建具をクリックします。

[建具のコピー]ダイアログが表示されます。高さ・内法・雨戸すべてコピーするので、そのままコピー先の建具をクリックします。



[高さ]を変更し、[雨戸の取付]のチェックを外して、コピー先の建具をクリックします。

コピーが終了したら[終了]ボタンをクリックします。



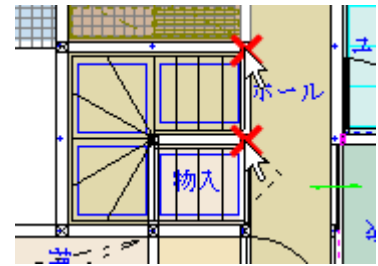
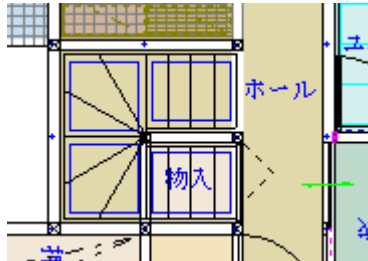
## Step 3 記号中抜き

階段の上り口・下り口など、壁が不必要な箇所の壁を抜くことができます。



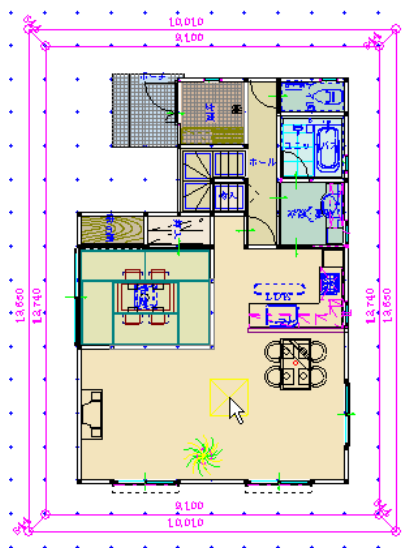
(その他壁) / [記号中抜き] を選択し、壁を抜きたい箇所を入力します。

入力した箇所の壁を抜くことができます。




## Step 4 建物高基準点

平面図に段差のある敷地図を読み込んだとき、【外観. 立面図】・【パース】プログラムで建物が敷地に埋まったり浮いたりすることがあります。そのときは、[建物高基準点] コマンドで基準を設定する必要があります。



(敷地図) / [建物高基準点] を選択します。

建物高さ 0mm となる基準点をクリックします。

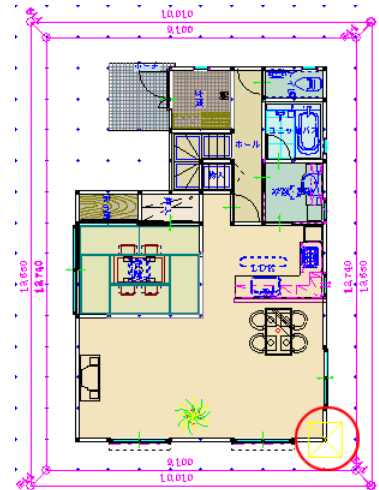
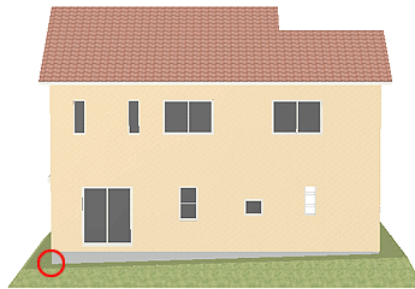
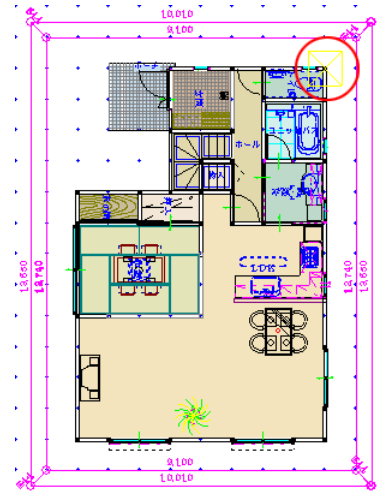
今回は、敷地の中心部分の高さに建物を設置するので、敷地の中心部分内をクリックします。(  が表示されます)



## ！ 傾斜のある敷地に建物を配置する

傾斜のある敷地を取り込んだ場合も同様に、建物の高さが **0mm** の位置が配置される場所を [建物高基準点] で設定する必要があります。

建物高基準点を設定した場所に建物の高さ **0mm** の位置が配置されます。



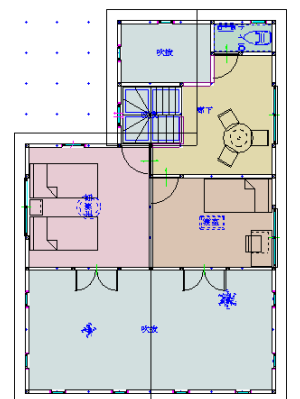
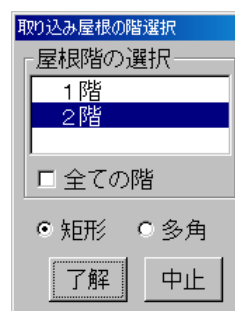
## Step 5 屋根図線取り込み

【屋根図】プログラムで作成した屋根面のラインを平面図に取り込むことができます。屋根に合わせた勾配天井を設定するときなどに便利な機能です。

**線編** (線の編集) / [屋根図線取り込み] を選択します。

[取り込み屋根の階選択] ダイアログが表示されます。表示させる屋根面の階を選択し、[了解] ボタンをクリックします。

表示させる領域を矩形で囲みます。屋根図のラインが取り込まれました。



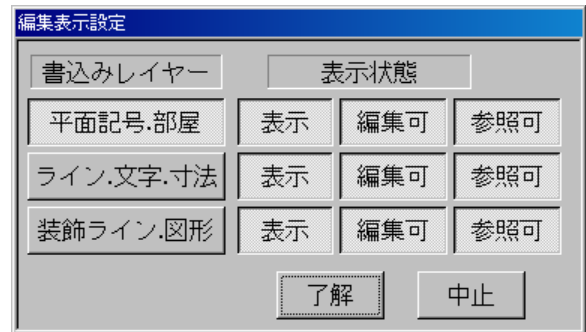
## ！ レイヤー

先に入力した屋根図線を非表示にしたいとき、屋根図線のみを削除したいときなどは、レイヤー機能を使うことで簡単に編集できます。



(レイヤー)をクリックします。

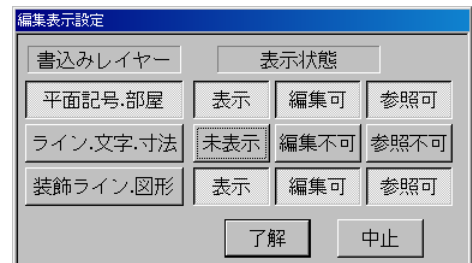
[編集表示設定]ダイアログが表示されます。  
[書込みレイヤー]に選択しているレイヤーに入力情報は保存されます。



- ※1 部屋・階段・床パターン・敷地境界線・方位記号・筋違記号・外柵・壁・柱・たれ壁・手摺・框・重ね記号・建具・建具符号・円弧記号は、[書込みレイヤー]に関係なく、「**平面記号.部屋**」に保存されます。
- ※2 対角分割線・求積用高さ・敷地水平面・等高線・地番・求積表は、[書込みレイヤー]に関係なく、「**装飾ライン.図形**」に保存されます。
- ※3 ライン・文字関係のデータは、[書込みレイヤー]が「**平面記号.部屋**」・「**ライン.文字.寸法**」のときは、「**ライン.文字.寸法**」に保存されます。

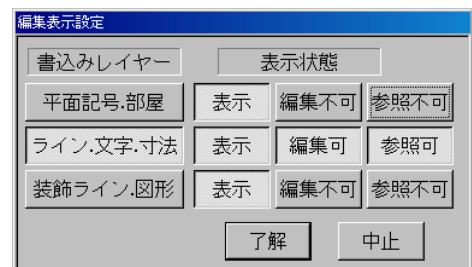
屋根図線を非表示にしたいときは、「ライン.文字.寸法」レイヤーの[表示]ボタンをクリックし、OFFにします。

※ [編集不可]・[参照不可]もOFFになります。



屋根図線を削除したいときには、書込みレイヤーを「ライン.文字.寸法」にし、「平面記号.部屋」・「装飾ライン.図形」の[編集可]・[参照可]をクリックし、それぞれ[編集不可]・[参照不可]にします。

[削除]メニュー／[矩形削除]を選択し、屋根図線全体を矩形で囲めば、屋根図線を含むライン.文字.寸法線のみ削除できます。



## Step 6 面積表の挿入

面積表マクロを使用することにより、平面図内に面積表を簡単に挿入することができます。

※ 面積表を挿入するには、[計測]メニュー／[床面積]・[建築面積]で、床面積・延べ面積・建築面積を設定する必要があります。



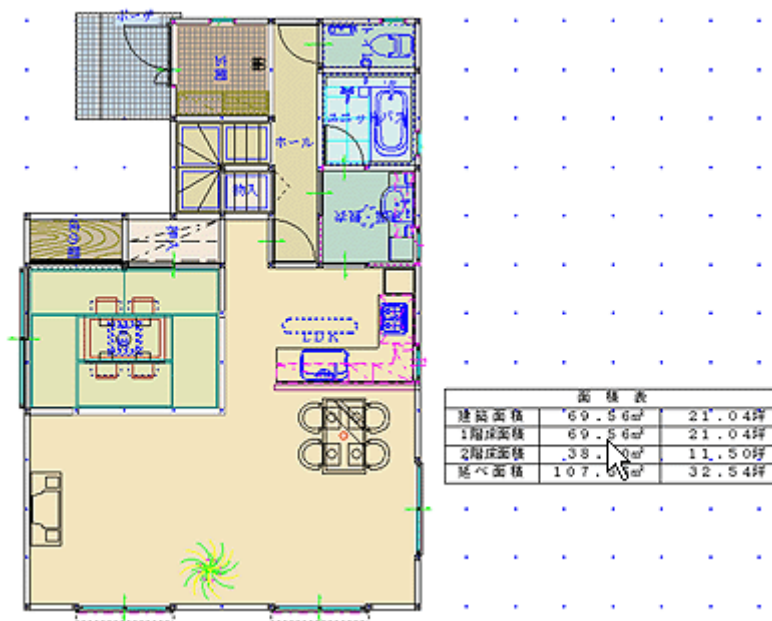
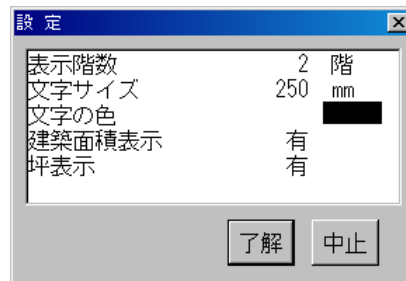
(マクロ)／[面積表]－[面積表]を選択します。

[設定]ダイアログが表示されます。表示関係の設定を行います。

※ リストをクリックすることにより、設定することができます。

[了解]ボタンをクリックします。

面積表の領域の矩形が表示されますので、挿入する位置をクリックします。



※ 面積表の坪数は、㎡数に「0.3025」を掛け、少数第3位を四捨五入して算出するようにマクロで設定されています。マクロを編集することで坪数換算の計算式は変更することができます。

(面積表マクロ：¥Hdmc¥Mcr1¥面積表.mc1)

次回予告

構造パースから通り図を作成しよう

2005/12/08 公開予定

See You Next Time